

アニメの舞台マップを作っていたら、 同人誌を作ることになった件

専修大学文学部ジャーナリズム学科 松本ゼミナール

伊藤陽南、稲葉桃子、小川舞佳、**櫻村菜津美**、河守明日香、成田郁也、新原璃子
深瀬智香、星名空、増田智哉、山岡璃子

1. 同人誌制作の目的と背景

専修大学文学部ジャーナリズム学科松本ゼミナールでは、コンテンツを用いた地域創生を研究テーマに掲げている。

今年度は本学キャンパスが存在する神奈川県川崎市を舞台としたアニメーション作品『ガールズバンドクライ』を題材として聖地巡礼用マップの制作を開始、完成に向けた取り組みを行ってきた。

そういった活動の一環として、これまでの活動を総括することで川崎市の魅力発信、聖地巡礼マップ制作活動に対する認知の拡大を目指し同人誌の制作を行うことにした。

2. 同人誌の構成について

当ゼミが発刊予定の同人誌は内容ページ数約25p、掲載コンテンツは

- ①有限会社ねこのしっぽ インタビュー特集
- ②『映像のまち・かわさき 推進フォーラム全体交流会』プレゼン資料
- ③ゼミナール生 卒業論文予稿集

以上3つのトピックを予定している。

詳細について、

①は、昨年11月に行った川崎市に存在する同人専門の印刷会社『有限会社ねこのしっぽ』へのインタビューを掲載。なぜ同人誌専門の印刷会社を起業したのか、同人誌業界における近年の動向などの話題を中心に掲載。川崎市内に拠点を置く企業の話から、コンテンツ制作の場として市の魅力発信に繋げる。

②は、昨年12月3日に行われた『映像のまち・かわさき 推進フォーラム全体交流会』で当ゼミが発表に用いた資料を掲載し、これまで約10か月間の活動や研究について、資料を通して紹介する。コンテンツがどう地域創生へ関わっていくのかといったプロセスや事例の紹介から、聖地巡礼マップの必要性についての認知拡大を目的とする。

③では、上記の研究を踏まえて、ゼミナール生が個人の興味関心に基づいたテーマで制作した卒業論文の予稿を全員分掲載。活動の総括として、様々なかたちでのコンテンツに対する研究を紹介する。

3. 頒布予定

2025年夏に開催される国内最大級の同人誌即売会『コミックマーケット106』にて頒布予定。

4. 今後の展望

資料冒頭でも言及した通り、今回の同人誌は活動の総括から川崎市のさらなる魅力の発信、聖地巡礼マップの制作活動に対する認知の拡大を目的としており、達成のためにはより多くの人に手に取っていただく必要がある。

そのため、上記の内容について、今回のフィードバックも踏まえてより検討を進め、魅力的な同人誌となるよう制作を進めていきたいと考えている。